

令和 6 年度

業務番号
第 301 号

林業専用道二セコ桂台線全体計画調査委託業務

特記仕様書

北海道後志総合振興局産業振興部林務課

特記仕様書総則

この仕様書は、測量調査設計業務等共通仕様書(令和6年版、監修北海道水産林務部、令和6年4月改訂)(以下「共通仕様書」という)に記載されていない事項等を示す仕様書である。

[共通仕様書アドレス\(https://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/sum/03kanrig/R03_4koujishiyousyo.html\)](https://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/sum/03kanrig/R03_4koujishiyousyo.html)

1 摘要

本仕様書及び設計図書に記載されていない事項については、共通仕様書、関係各要綱、示方書及び指針等に準拠すること。

施工にあたって、疑義、不明な点があれば、その都度業務担当員と協議を行うこと。

2 業務担当員との打合せについて

本業務を適正かつ円滑に実施するため、管理技術者と業務担当員は常に密接な連絡をとり、設計業務等の方針及び条件等の疑義を正すものとし、その内容について、その都度、受託者は打合せ簿に記録し、相互に確認しなければならない。

☐ 内容

- 1) 全体計画調査における打合せ回数は2回とし、中間報告時2回を予定している。
路線測量における打合せ回数は1回とし、時期は概路線形完了時を予定している。
※打合せ回数:3回
- 2) 電話による打合せについても、打合せ内容を記載した打合せ簿を作成し、相互の確認しなければならない。
- 3) 打合せ簿を作成する部数は2部作成するものとする。内1部は複写とし、各自1部を保有し保管するものとする。

3 交通安全・労働災害防止について

受託者は、業務の実施にあたり、交通事故・労働災害の防止に努めること。

受託者は、労働安全、訓練等の一環として交通安全教育の徹底を図るとともに、現地までの移動に際し自家用自動車等を使用する場合は、運転者の体調等の把握に努めるとともに、道路状況等の把握等、必要と思われる情報の収集を行い、交通安全の徹底をはからなければならない。

☐ 内容

- 1) 交通労働災害防止担当管理者を定める。
(道路交通法等の規定により安全運転管理者、運行管理者を決めている場合は必要としない。)
- 2) 労働安全管理体制を確立する。
- 3) 業務実施計画を策定し、無理な業務の執行体制を排除する。
- 4) 現場状況を的確に把握し作業現場での安全点検の徹底を行う。
- 5) 現場状況により防護具を装備する。
(ヘルメット、呼吸用保護具、安全帯、命綱、防護眼鏡、脚絆、等)
- 6) 安全運転を妨げる諸要因を取り除く。
(過労、道路情報の不足、車両点検の不備、気象等の情報等)
- 7) 健康診断、健康管理を徹底する。
- 8) 現場での薬箱等(携帯用も含む)の常備を徹底する。
(特に蜂用の防虫薬品等)

4 安全対策関係

(1) 可猟区域内における作業員の安全確保について

可猟区域内における「作業員の安全確保を図るため、作業箇所においては、遠くから目立つよう蛍光色のベストや反射テープなどの付いた保安服の着用し安全に努めること。

なお、可猟区等設置期間は10月1日から1月31日である。

参考：北海道環境生活部自然環境局野生動物対策課HP→エゾシカ猟の可猟区域・可猟期間

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/skn/est/ht/deerhunting.htm>

(2) 林内作業におけるヒグマ対策について

受託者は、林内での作業にあたっては、下記に記載された事項を参考にヒグマ対策をとること。

(ア) クマの出没情報を確認する。

参考：北海道環境生活部自然環境局野生動物対策課ヒグマ対策室HP→ヒグマ出没情

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/skn/higuma/joho.html>

※上記を参考に隣接市町の情報も把握すること。

(イ) クマ除けスプレーを携帯する。

(ウ) 単独作業を避け、複数で作業する。

(エ) 鈴など音の出るものを鳴らしながら作業する。

(オ) 鉤(かぎ)や鋸(のこぎり)を携帯する。

(カ) 緊急連絡体制や応急措置について確認・周知する。

(3) 林内作業におけるダニ刺され予防対策について

1. 受託者は、林内での作業にあたっては、下記に記載された事項を参考にダニ刺され予防策をとること。

(ア) 腕、足、首などは肌の露出をすくなくする。

(イ) 首にタオルを巻く、ハイネックのシャツを着用する。

(ウ) シャツの袖口、裾はズボンの中に入れる。

(エ) ズボンの裾は長靴、安全靴の中に入れる。

5 労働者死傷報告について

業務の実施に際し、従事する労働者に休業4日以上労働災害が発生した場合は、速やかに業務担当員に連絡するとともに、次により報告すること。

1) 報告を要する労働災害の範囲

業務の着手から完了までの期間中、当該業務の実施に従事する労働者が労働災害、その他就業中、又事業場、若しくはその付属建設物内における負傷、窒息又は、急性中毒により死亡、又は4日以上の休業をしたとき。

2) 労働災害等の発生(別記様式1)について報告(添付する書類は下記によること)

ア) 労働安全衛生規則97条の規定による「労働者死傷病報告」(様式第23号)を所轄労働基準監督署へ提出するとともにその写しを業務担当員に提出すること。

イ) 死亡診断書又は診断書

ウ) 事故現場の見取図及び状況図

エ) 写真

オ) その他参考となる図書等

- 3) 「様式第23号(労働安全衛生規則第97条)労働者死傷病報告」について、厚生労働省のHPからダウンロード出来る。
 ☆<https://www.mhlw.go.jp/bunya/roudoukijun/anzeneisei36/17-download.html>
- 4) 「(別記様式1)労働災害等の発生について(報告)」について、北海道水産林務部総務課HPからダウンロード出来る。
 ☆<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/sum/tekiseishikkou.html>

6 全体計画調査・計画調査・概略設計における参考図書

- 1) 受託者は、下記技術基準、指針等図書に準じて調査・設計業務を実施すること。

(技術上の基本的事項)

また、国土交通省制定土木構造物標準設計図集及び北海道水産林務部監修林道事業標準設計図等に収録されている構造物を採用する場合は、採用構造物名の呼び名を設計図書に明示し、設計数量は図集の単位当たり数量をもととして行うものとする。

(参考)

番号	参 考 図 書 等 の 名 称	発 行 所 等
1	林道規程	日本林道協会
2	林道必携(技術編)	〃
3	林業専用道作設指針	北海道水産林務部
4	林道事業設計指針	〃
5	道路土木指針(土質調査、のり面工、斜面安定工、軟弱地盤対策工、排水工、擁壁工、カルバート工、仮設構造物工)	日本道路協会
6	コルゲートメタルカルバート・マニュアル	地盤工学会
7	コンクリート標準示方書	土木学会
8	国土交通省土木構造物標準設計	国土交通省
9	森林土木構造物標準設計	林業土木コンサルタンツ
10	河川管理施設等構造令	国土交通省
11	その他参考となる図書	

※ 図書は、原則として最新版を適用するものとする。

- 2) 受託者が、上記以外の参考図書により設計等を行う場合は、業務担当員と協議を行い承諾を得るものとする。又、その参考とした図書の写し、カタログ等を業務担当員に提出するものとする。

7 林業専用道の全体計画調査延長

- 1) 全体計画調査延長L=4900mで積算しているが現地調査によって延長等を変更する必要がある場合は、別途協議する。
- 2) 中間報告は、9月中旬頃を予定しているなのでその前に提出すること。
 なお、詳細の提出時期は、中間報告協議の日程確定後、別途打合せ協議する。

8 林道測量設計(実施設計)

- 1) 測量・設計業務延長 L=1500mで積算しているが本測量業務の着手については、中間報告協議が完了後に着手すること。(9月下旬予定)
 また、中間報告協議結果により変更があった場合は、別途、協議する。

8 資料等の貸与及び返却

- 1) 利用区域内森林所有者別資源表等については貸与するが、守秘義務が求められる資料である。業務完了時には返納若しくは消去又は破棄を確実に行うこと。

9 成果品

- 1) 本業務は電子納品対象業務とする。電子納品の運用にあたっては、北海道水産林務部制定の「電子納品運用ガイドライン【森林土木業務編】(以下「ガイドライン」という。))に基づくものとし、業務担当員と協議のうえ、電子化の範囲等を決定しなければならない。
- 2) 成果品は、「国土交通省の電子納品要領(案)及び関連基準(案)等を準用して作成した電子データを電子媒体(CD-R)で正副1部ずつ提出する。「ガイドライン」及び「要領」に記載のない項目については、原則として電子データを提出する義務はないが、「ガイドライン」及び「要領」の解釈に疑義がある場合は業務担当員と協議のうえ、電子化の是非を決定する。なお、電子化の困難な資料及び打合せ簿、委託業務月報等の押印された書類については、紙による成果品を1部納品する。
また、設計図についてはA3版に縮小した図面を1部紙で納品する。
☆http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/sum/03kanrig/kanri_group.htm

10 ワンデーレスポンス

- 1) この業務は、ワンデーレスポンス試行対象委託業務である。
「ワンデーレスポンス」とは、受託者からの質問、協議への回答は、基本的に「その日のうち」若しくは「翌日」の一両日中に回答する取組である。(「翌日」が閉庁日の場合は、翌開庁日とする。)
ただし、一両日に回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受託者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、受託者が次の段取りができるような回答を「その日のうち」若しくは「翌日」の一両日中に行うこととする。
- 2) 受託者は、ワンデーレスポンスを要する場合、事実が確認できる資料を添付のうえ、打ち合わせ簿の右上余白に「【ワンデーレスポンス対象協議】」と記載し、業務担当員に提出すること。
- 3) 受託者は、2の協議について、必要に応じ「協議事項」欄に「【回答期限日】」を記載すること。
- 4) 発注者が効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合、受託者は協力すること。

11 工期設定

- 1) この業務の工期は令和7年3月10日とする。

成果品目録

別紙

名 称	単 位	縮 尺	規 格・寸 法	提 出 数 量		備 考
				紙	電子媒体	
全体計画調査報告書	部	適宜	A-4製本	1	2	
【実施設計】						
計画調査報告書	部		A-4製本	1	2	線形・勾配・主要構造物の規模・形式の決定に至る経緯
位 置 図	枚	1/50,000		1	2	路線の延長 中心線朱書き
森 林 計 画 図	枚	1/5,000		1	2	中心線朱書き
平 面 図	枚	1/1,000		1	2	
縦 断 面 図	枚	縦: 1/200 横: 1/1,000		1	2	
横 断 面 図	枚	1/100		1	2	
作 工 図	枚	1/100		1	2	溝渠工等
土 工 等 標 準 図	部	1/10~1/200		1	2	
各 種 数 量 計 算 書	部			1	2	
流 量 計 算 書	部			1	2	
現 地 写 真 帳	部			1	2	電子データ含む
土 質 の 概 要 報 告 書 (土 質 調 査 図)	部			1	2	報告書…調査の概要及び一般留意事項意見等 調査図…平縦横断面図に調査位置、土の種類分布、地下水等
参 考 資 料	部			1	2	安定計算書、伐開除根根拠図
各 調 査 野 帳	式			1		路線計算、縦断・横断測量

○電子媒体は、CD-R又はDVD-Rの納品とする。保存形式は次による。

・図面：CADデータ(SFC)

・報告書等：マイクロソフトエクセル、ワード及びPDF

立木調査成果品目録

(実施設計)

名 称	単位	縮 尺	規 格 ・ 寸 法	提 出 部 数		備 考
				電 子	紙	
平 面 図	式	1/1,000		2	1	現況平面図に調査箇所表示
立木・庭木等 調 査 野 帳	//		様式第27号	2	1	
立竹木調査表	//		様式第28号	2	1	
現地写真帳	//			2	1	
立竹木等 調 査 立 会 簿	//		様式第26号	2	1	CD-R正副2部には 読取画像データを添付

- * 1 紙とは、A1・A3・A4版のプロッター/プリンター出力を指している。
- * 2 図面の縮尺については、具体的な数値を記載する。
- * 3 電子媒体2部とは、「ガイドライン」に基づく電子納品成果の電子媒体（CD-R）正副2部を指している。

林道用地測量成果品及び測量記録

(実施設計)

区分	名称	単位	縮尺	規格・寸法	提出部数		備考
					電子	紙	
成果品	用地実測図原図	式	1/500 又は 1/1000		2	1	
	用地平面図	式	1/500 又は 1/1000		2	1	
	登記資料図面			様式第24号 (B4版)	2	1	登記資料調書含む (第25号様式)
	用地調査書	式		様式第16号	2	1	
	土地境界確認書	式		様式第20号	2	1	取得、使用、隣接地 に対する立会
	土地境界確認協議書	式		様式第21号	2	1	隣接地に対する同意 (地図地積更正)
	土地登記簿謄本	式			2	1	CD-R正副2部には 読取画像データを添付
	調査報告書	式		様式第22号	2	1	
	資料図	式			2	1	
測量記録	観測手簿	式			2	1	
	測量成果計算簿	//			2	1	
	土地調査表	//		様式第3号	2	1	
	連続転写図	//			2	1	
	写真帳	//			2	1	

*1 紙とは、A1・A3・A4版のプロッター/プリンター出力を指している。

*2 図面の縮尺については、具体的な数値を記載する。

*3 電子媒体2部とは、「ガイドライン」に基づく電子納品成果の電子媒体（CD-R）正副2部を指している。

林道測量設計構造規定指示書

路線名		二セコ桂台		林道区分		林業専用道	
幅員		造成幅員 W= 3.60 m 車道幅員 W= 3.00 m		起点		虻田郡 豊浦町 字新富	
延長		L= 4,900 m		終点		虻田郡 二セコ町 字桂台	
指示項目		測点 SP 0 ~ SP 4,900		指示項目		内容	
指示項目		内容		路盤工	上層路盤	幅 = 3.00 m	t = (想定)10 cm
構造区分		自動車道 第2種 2級			下層路盤	幅 = 3.00 m	t = (想定)20 cm
設計速度		設計速度 15 km/h			路盤材	種類 再生骨材 φ0-40~80mm	
路肩幅員		路肩幅員 W= 0.30 m 保護路肩 W= m		舗装工	アスファルト混合物	幅 = m	t = cm
最急縦断勾配		12(14) %			上層種類 下層種類		
合成勾配		14 %			下層路盤	幅 = m	t = cm
横断勾配		横断勾配 0.00 % 片勾配 0.00 %			凍上抑制層	幅 = m	t = cm
最小半径		曲線半径 R= 12.0 m		種類			
待車避廻	造成幅員	待避所 W= 6.60 m 車廻し W= m		橋梁及び開渠	設計荷重	設計荷重	
	有効長	待避所 L= 20.0 m 車廻し L= m			幅員	造成 = m	車道 = m
	間隔	待避所 D= 500 m 車廻し D= m					
法 勾 配	盛土	1:1.2		擁壁工	コンクリート	形式 重力式擁壁 H=2.50 ~ 4.00m	
	火山灰	1:0.6			フトン籠	形式 二重フトン籠 H=0.50m W=1.20m	
	砂質土	1:0.6			盛土補強土壁	形式 多数アンカー工法・テールアルメ・シオテキスタイル等	
	粘性土	1:0.6			木製枠工	形式 木製丸太枠工・カゴ枠工	
	礫混じり土	よく締まった崩れにくい土砂の場合 1:0.6 風化の進度や節理の発達が遅い岩石の場合 1:0.3		排水工	溝渠工	種別 RCT管 φ450 ~ 1,200	
	軟岩Ⅰ(A)	1:0.3			種別 ヒューム管 1・2種 φ450 ~ 1,200		
	軟岩Ⅰ(B)	1:0.3			側溝工	種別 U型トワ(300B) R=50m未満: ヲ-トワ R=50m以上: 0ワトワ	
	軟岩Ⅱ	1:0.3			種別		
	中硬岩	1:0.3		路側保護工		種別 カラマツ丸太柵工 杭長 L=1.80m 杭間隔 W=0.50m 柵高 H=0.50m	
	側 溝	土砂類	法勾配 1:0.6~0.8 W1=0.30m W2=0.78m H=0.30		法面保護工		切取法面
軟岩Ⅰ(A)						盛土法面	
軟岩Ⅰ(B)				土砂流出防止工		種別	
軟岩Ⅱ				防護施設工		種別 道路反射鏡 φ1,000mm	
中硬岩以上				標識工		種別 林道標識(Ⅲ型)・案内標識・警戒標識・キロ程標識・林道里程標識・林道案内板	

摘要

1. 盛土流用計画、純盛土、運搬捨土計画、路盤数量、切取法面・盛土法面数量、伐開数量、側溝数量等の各種計算表を附した設計書、設計図及び調査野帳
2. 細部については、林道技術指針及び林道事業設計指針によること。
3. 位置図(50, 000分の1)及び森林計画図(5, 000分の1)を添付すること。
4. 路盤厚及び法面保護工等については、土質状況により変更する。